

URL: <http://www.hijokin.org>  
email: [info2@hijokin.org](mailto:info2@hijokin.org)  
郵便振替 00950-2-203528  
[関西圏大学非常勤講師組合]

# 非常勤の声

委員長: 新屋敷 健  
email: [BQE06513@nifty.ne.jp](mailto:BQE06513@nifty.ne.jp)  
〒542-0012 大阪市中央区谷町  
7丁目1-39-102 大私教気付

## 京都府立大学非常勤講師報酬カットの問題

### 一方的な報酬単価5%カットの決定は撤回せよ！

関西圏大学非常勤講師組合は、京都府立大学が2007年度の非常勤講師報酬を5%カットするという一方的な通告に対して、12月22日付で撤回の要求を送付しました。

1月18日に賃金カットについて話し合いを持ちましたが、その席上大学当局は、学内で検討したが、撤回はできないという回答を示しました。その理由として、非常勤講師の先生方全員に5%の賃金カットを電話連絡の際に知らせ、文書も送付したが、各学部長に聞いても先生方からは困るという声や反対の表明は寄せられていない、したがって賃金カットになら問題はない、というものでした。

こうした回答に対して、当組合はそうした発言がまったく誤っていることを指摘しました。①賃金カットに対しては多くの非常勤講師が反発しているし、専任の先生方も一貫して反対していること。②専門の非常勤講師は雇止めを警戒して容易には反論はできないこと。③そうした声が多く上がっているともしその声が各学部長までは達しないこと、しかも聞こうとする体制もないこと。④賃金カットそのものを知らされていないし、文書を送付されてもいない非常勤講師が多くいること、などです。

最後の賃金カットそのものを知らされていないし、文書を送付されてもいない非常勤講師が多くおられるということに対して、大学当局はそれ自体をまったく把握しておらず、非常勤講師全員に対して、口頭の了解と文書の送付を行っていると思込でいました。このようなずさんなやり方で一方的に報酬のカットを決定し、また了承が得られたかのように主張する大学当局の態度はまったく理不尽で不誠実な態度であると言わざるをえません。このずさんなやり方については大学当局も調査を約束せざるをえませんでした。

さらに、京都府立大学の非常勤報酬単価は他の国公立大学と比較しても非常に低いものです。それをさらに引き下げることなど到底許されません。しかも当組合の要求などによって、他の大学では徐々にではあっても、非常勤講師給を引き上げています。全体的にも引き上げる方向に向かっていきます。京都府立大学の非常識な行為は、こうした非常勤講師の労働条件や生活条件の改善の動きに逆行する、社会的に見ても大きな悪影響を与えかねないような暴挙以外の何ものでもありません。

当組合は、京都府立大学のこうした非常識に対して、団体交渉を要求し、撤回を求めていくことにしています。そのため京都府職員労働組合府立大学支部とも連携して、ご意見、ご質問を集約しています。府立大学支部の投書箱にお寄せください。